

# まこと之道【文月】七月

ふみづき

## 『我は海の子』

### 我は海の子 白浪の

しらなみ

### さわぐいそべの松原に

### 煙たなびくとまやこそ

すみか

### 我がなつかしき住家なれ

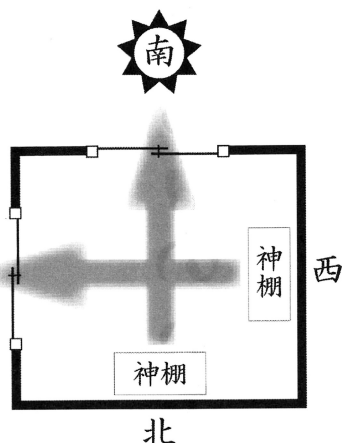


神話冊子「みんなの神さま」を無料で差し上げます。詳しくは神社庁HPをご覧ください。直接お電話(045-761-6387)下さい。

## 家庭祭祀のおすすめ

### 神棚を祀る方角

神棚を祀るときには、一般的に日が昇る東向きか、陽光が最も降り注ぐ南向きを原則に、家中で最も清浄な場所を選んでお祀りします。これは神棚が家族や家庭の守りの中心として重要だからです。



### 豆知識

神社は一般的に南向きか東向きに建てられていることが多いです。

しかし、地勢の問題やその神社の特別な由緒から西向きや北向きに建てられていることもあります。



# お祭りについて

お祭りというと、通常とは違った晴れやかに賑わいを見せるイベントなどで使われることが多くあります。

神社でのお祭りも武者行列が登場したり山車が進行して、笛や太鼓の調べが流れ、屋台が立ち並ぶといった賑やかな側面もあります。しかし、神社でのお祭りの本当の意味は、その賑やかさも含めて、心身を清め、神様に正対し感謝の心を捧げることにあります。その意味では、通常の神社の参拝となら変わることはありません。

「まつり」の語源は、神さまの力に従い奉仕する「まつらふ」という言葉に由来するといわれています。また、「まつり」という言葉の中には「まつ(待つ)」という言葉が含まれています。大昔、神さまは遠いところから来られて、山や岩、木などに宿ると考えられてきました。つまり、神さまが現れるのを「待ち」、神威に服することが「まつり」であるといわれているのです。

いつの時代も人々は、心を尽くしたお供物(神饌)を捧げ、神さまをおもてなしして日頃の神恩に感謝してきました。また、人々は「まつり」に参加することで、同じ時と所に生きる人たちと喜びを分かち合ってきたのです。

## 神奈川県神社庁

〒235-0019 横浜市磯子区磯子台20-1  
TEL:045(761)6387 FAX:045(761)0100  
E-mail:k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp



ご自由に一枚ずつお持ち下さい。

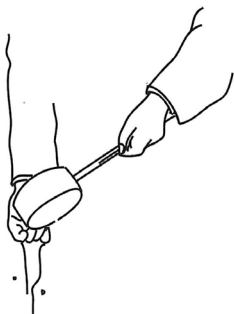
## 〈手水の作法〉

手を清めてから  
お参りしましょう。



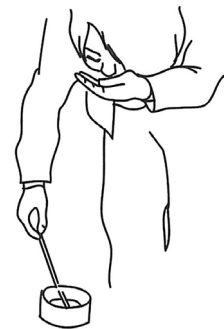
1

まず右手で柄杓を取り、  
清水を汲んで左手にかけ、  
左手を清める



2

柄杓を左手に持ち替えて、  
同じように右手を清める



3

再び柄杓を右手に持ち、  
左の手のひらに水を受けて口をすすぐ。  
口をすすぎ終わったら、  
もう一度、左手を水で流す  
※後の人が気持ちよく手水を  
使えるよう心がけましょう